



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 国際会議報告



会 議：国際海事機関（IMO）第6回航行安全・無線通信・捜索救助小委員会（NCSR 6）

開催場所：国際海事機関（IMO）、英国、ロンドン

会議期間：2019年1月16日～25日

参加国：国および地域：79、政府間機構：6、国際機関：26

海技研からの出席者：

丹羽 康之：知識・データシステム系上席研究員（国際連携センター併任）

概要：

航行安全・無線通信・捜索救助小委員会は、「航海機器の表示と操作の標準化のガイドラン」に合意した。

主な貢献

丹羽は、航行安全関係の作業部会（Navigation Working Group）を中心に参加し、航海機器の表示と操作の標準化のガイドラン（議題7）等に参加し審議に貢献した。さらに、会議に先立って本議題の通信部会（CG）の国内代表を担当し、国内意見のとりまとめとCGへの意見入力を行うとともに、本件に係る各国の提案文書の概要をまとめ、我が国の対応の検討に貢献した。



海上技術安全研究所からの出席者（丹羽）

主な審議結果

当所職員が担当した議題の主な審議結果は以下の通りである。他の事項及び審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。



## 1 航海機器の表示と操作の標準化のガイドライン

レーダーや電子海図情報表示装置（ECDIS）等の航海機器について、機種ごとに表示や操作が異なる場合があることから、表示と操作を標準化することが望まれ、ガイドライン策定の検討が行われてきた。今次会合では、前回の NCSR 5 で設置されたオーストラリアをコーディネータとする CG の報告に基づいて、審議が行われた。審議の結果、ガイドラインについて、表示関係では各種アイコンの標準化、操作関係では 1 回のボタン操作（ワンクリック）で実現する機能等を規定した内容とすることで、小委員会は合意した。また、このガイドラインを適用するための回章文書案を作成し、ガイドラインとともに本年 6 月に開催予定の海上安全委員会に承認を求めることとした。

## 2 次回会合

NCSR 7 は、2020 年 1 月 15 日から 24 日まで、ロンドンの IMO 本部で開催される予定である。